

令和2年度定期監査結果

1. 監査を実施した監査委員

中野渡 進
馬場 騎一

2. 監査の期間

令和2年10月20日から令和2年11月19日まで

3. 現地調査の期日及び対象校

執行年月日	対象校
令和2年11月18日(水)	木崎野小学校 堀口中学校 第一中学校
令和2年11月19日(木)	古間木小学校 上久保小学校 岡三沢小学校

4. 監査要領

令和2年度(令和2年4月1日～令和2年9月30日)における財務に関する事務の執行を監査の対象とした。

監査に当たっては各校より資料の提出を求め、財務に関する事務の処理が会計事務規則の規定に則って適正に行われているか。その事務を処理するに当たっては、最少の経費で最大の効果を挙げるようになされているか。

等に重点をおき、三沢市監査基準に基づき、関係者の説明を聴取するとともに例月出納検査の結果を参考にして監査を実施した。

5. 着眼点

(1) 予算の執行状況について

- ・ 予算の執行は計画的に行われているか。
- ・ 予算の配当額を超過して執行していないか。

- ・ 予算科目を誤って執行していないか。

(2) 歳出事務について

- ・ 予算の目的外支出はないか。
- ・ 予算科目を誤っているものはないか。
- ・ 支出負担行為は法令その他に違反していないか。
- ・ 切手等金券の取扱いは適正か。

(3) 備品の管理について

- ・ 備品の管理は適正か。
- ・ 貸与・所管換えの手続きは適正か。
- ・ 標識表示は適正か。

6. 監査の結果

上記の項目に重点をおき監査を実施した。その結果は次のとおりである。

(1) 予算執行状況について

対象校全体としては、歳出予算執行率は44.96%となっている。

(2) 歳出事務について

① 支出負担行為の適否

支出負担行為は適正に行われているものと認められた。

② 切手等金券の取扱い

切手等金券の取扱いは適正であると認められた。

(3) 備品の管理について

抽出により監査を行った結果、備品台帳と現品が符合し、適正に管理されているものと認められた。

なお、些細な事項は口頭で指導し是正させているので、本報告書から省略した。
以下、各校ごとに報告する。